

「復興支援道路」一般国道 340 号和井内工区  
鞭牛下の橋の橋名板取付式を行いました！！  
～ 牧鹿鞭牛(ほくあんべんぎゅう)和尚の志を現代に～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター



橋名板を手に皆で記念写真



和井内小学校児童の皆さんに揮毫きこうしていただいた橋名板

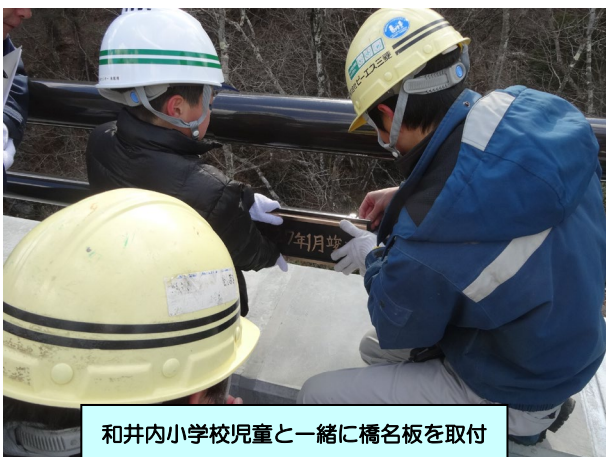
県では、一般国道 340 号を東日本大震災津波からの「復興支援道路」として位置付け、重点的に整備を進めています。

このうち、宮古市で事業を進めている一般国道 340 号和井内(わいない)工区については、平成9年度から事業着手し、現在、道路改良工事、橋梁工事を進めているところです。

平成 25 年度から着手した鞭牛下の橋(べんぎゅうしものはし)の工事について、橋名板の文字を揮毫(きこう)していただいた宮古市立和井内小学校児童の皆さんを招き、平成 27 年 1 月 28 日に橋名板取付式を開催しました。

和井内小学校の皆さんからは、「とても高い場所に橋が架かっていてビックリした!」、「橋名板重たい!」、「この字は私が書いたんだよ」、「自分が書いた字が残ってうれしい」、「新しい橋を通れると思うとわくわくする」などの微笑ましい感想をいただき、児童の皆さんの笑顔に工事関係者一同、心が温まりました。

県では、今年を「本格復興邁進年」と位置付け、復興を強力に推し進めています。一日も早い完成に向けて、安全に万全を期し、全力で工事を推進していきます。



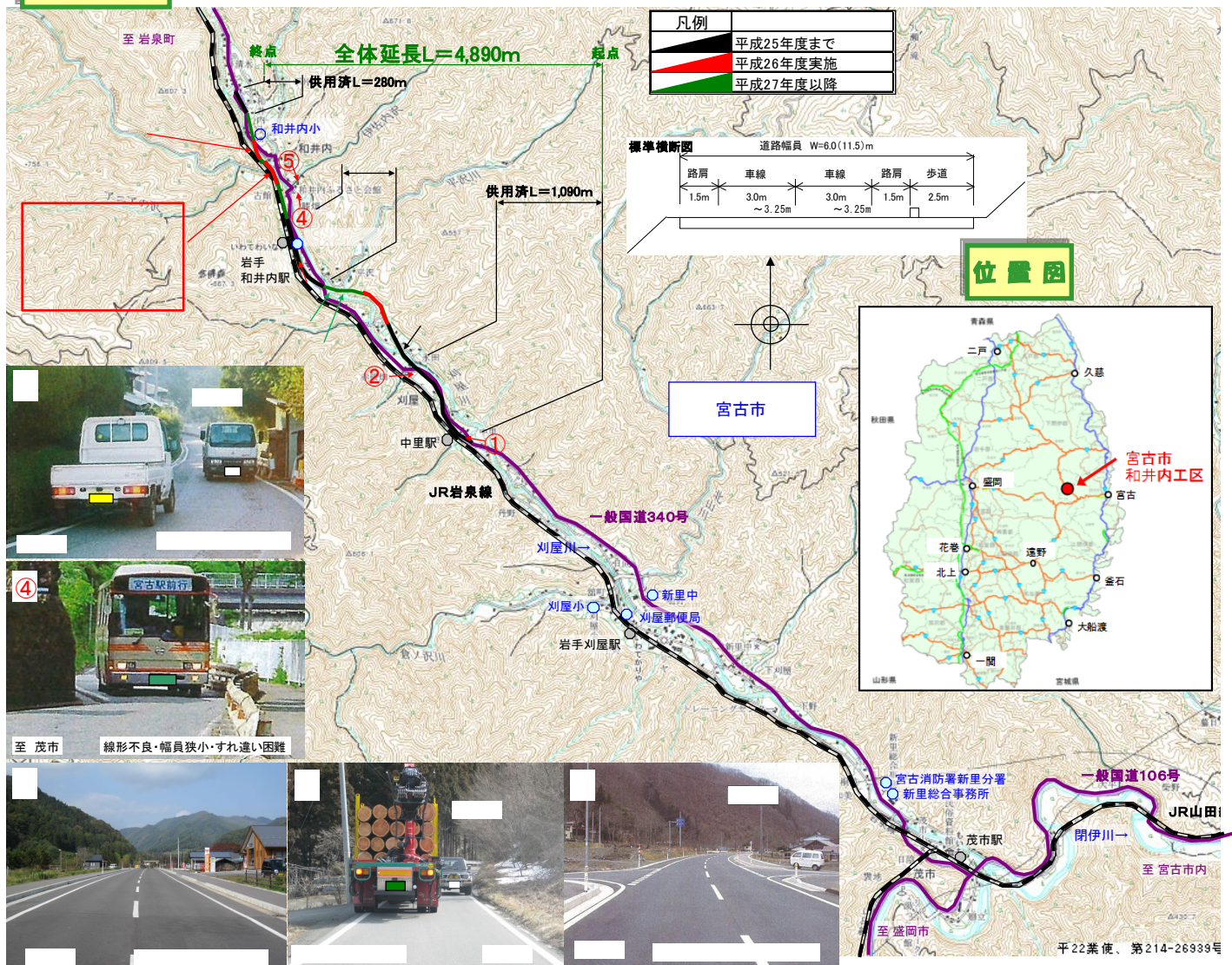
和井内小学校児童と一緒に橋名板を取付



事業等の説明に熱心に耳を傾ける皆さん

【一般国道340号和井内工区の事業概要】

事業概要図



県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

一般国道340号和井内工区は、三陸復興道路整備事業の「復興支援道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。

- (1) 計画延長：4.89km
- (2) 計画幅員：6.0(11.5)m～6.5(12.0)m
- (3) 事業期間：平成9年度～平成28年度
- (4) 全体事業費：約49億円
- (5) 主要構造物：橋梁 5橋
- (6) 整備効果：隘路区間が解消され、幹線道路としての安全で円滑な交通機能が確保される。また、歩道の整備により歩行者等の安全性が向上し、沿道の生活環境改善が図られる。